

## 商工会議所青年部（YEG）による平成28年熊本地震での支援活動について

平成28年4月25日

日本商工会議所

※4月20日までの主な支援活動(当所把握分)は、以下ご参照。

- 発災直後より、日本商工会議所青年部（日本YEG）と連携をとりつつ、九州ブロック商工会議所青年部連合会（九州ブロックYEG）は、炊き出し支援や支援物資の提供・輸送など緊急支援を、主に被害が大きい商工会地区で実施した。
- YEGによる生活者支援の特徴は、行政が動き出す前の迅速な初期対応や、行政が動き出した後に行政の手が届かないところへ機動的に支援を展開することである。

### 初期対応

#### 4月14日(木)

・九州ブロックYEGは、地震の発災直後に、商工会青年部や青年会議所と連絡協議会を立ち上げ、タイムリーな情報交換を可能とする体制を構築した。

#### 4月15日(金)

- ・九州ブロックYEGは、益城町(商工会地区)にて炊き出し支援を実施した。
- ・熊本県商工会議所青年部連合会(熊本県YEG)は、益城町商工会に支援物資(水、食料、ガスコンロ等)を輸送した。

### 大量の支援物資の提供・輸送

#### 4月16日(土)

・九州ブロックYEGのメンバー合計40～50人が、商工会地区である宇土市や宇城市、益城町、大津町に支援物資を輸送した。行政の手が届かないところに、本当に必要なものをピンポイントで届けることを目指し、例えば子供の多い避難所に粉ミルクを届けるなど、きめ細かな対応を実施した。

#### 4月17日(日)

・九州ブロックYEGは、4tトラック7台分の支援物資を、熊本市や商工会地区に輸送した。その際、自衛隊の支援が入っていない被災地周辺の避難所に支援物資を輸送するなど臨機応変な対応を実施した。

#### 4月18日(月)

- ・九州ブロックYEGは、物資が足りないと連絡があった宇土市や宇城市、益城町、大津町、菊陽町(いずれも商工会地区)に、4tトラック8台分等の支援物資を輸送した。
- ・九州ブロックYEGは、益城町に1,700リットル分の給水スポットの立ち上げを行った。

#### 4月19日(火)

・九州ブロックYEGは、宇城市や大津町(いずれも商工会地区)にそれぞれ3tトラック3台分、南阿蘇村(商工会地区)に3tトラック2台分の支援物資を輸送した。南阿蘇村への輸送については、前日(4/18)に南阿蘇村幹部から、「明日(4/19)は気温が低く、高齢者に温かい物をたべさせてあげたい」との要請を受けて、急遽、3,000個のカップ麺と水2,000リットルを調達し、輸送したもの。

#### 4月20日(水)

・九州ブロックYEGは、熊本市上下水道局からの依頼を受け、給水タンクの輸送や、市営団地に住んでいるお年寄りの住居まで水20リットルが入ったポリタンクの配布を行った。



【九州ブロックYEGによる支援物資の輸送】

### 支援物資以外の支援

#### 4月18日(月)

・日本YEGと九州ブロックYEGは、全国のYEGメンバーに対し、義援金の募集を開始した。

#### 4月19日(火)

・熊本県YEGは、益城町(商工会地区)へボランティアを6名派遣。